



カーボンニュートラルへの挑戦

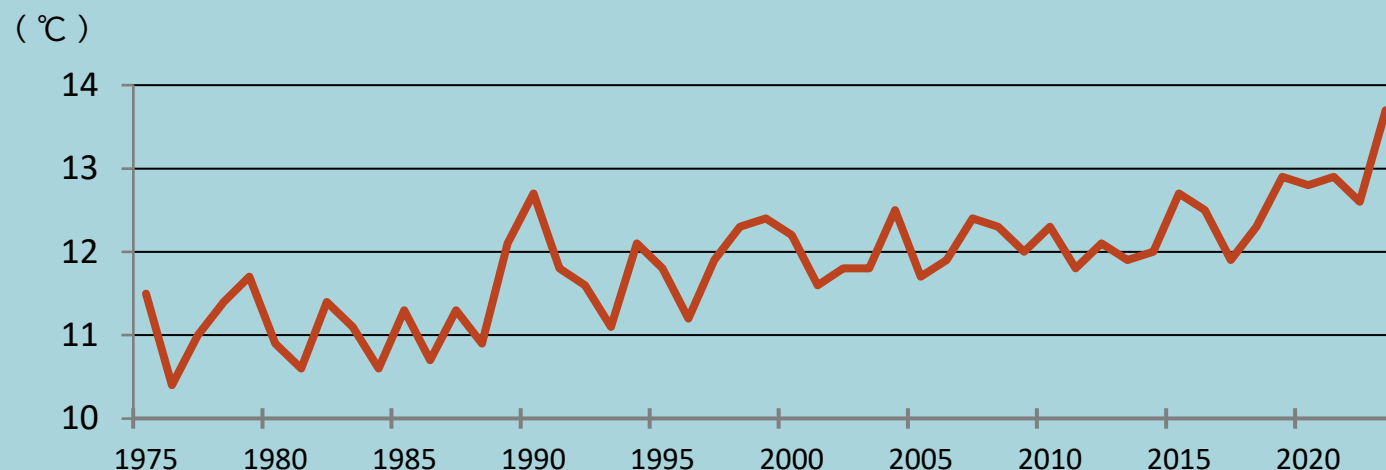
～ エネルギーの地産地消に向けた取組について ～

2025 年 2 月 6 日

秋田県 生活環境部 温暖化対策課

地球温暖化がもたらした気候変動影響

- 2023年の秋田市の平均気温は、**観測史上最高を記録**
(8月の平均気温は30.0℃)



世界平均気温も過去最高を記録

「地球沸騰化」の時代が到来

「気候地獄」への高速道路

- 2024年7月の秋田～山形の豪雨では、
地球温暖化が無かったと仮定した場合と比べ
48時間積算雨量が**2割(100mm)以上増加した可能性**(※参考：文部科学省発表資料)

脱炭素施策の位置づけ

新秋田元気創造プラン（2022～2025年度）

“ 元気 ” を創造するための施策 「 選択・集中プロジェクト 」

1

賃金水準の向上

2

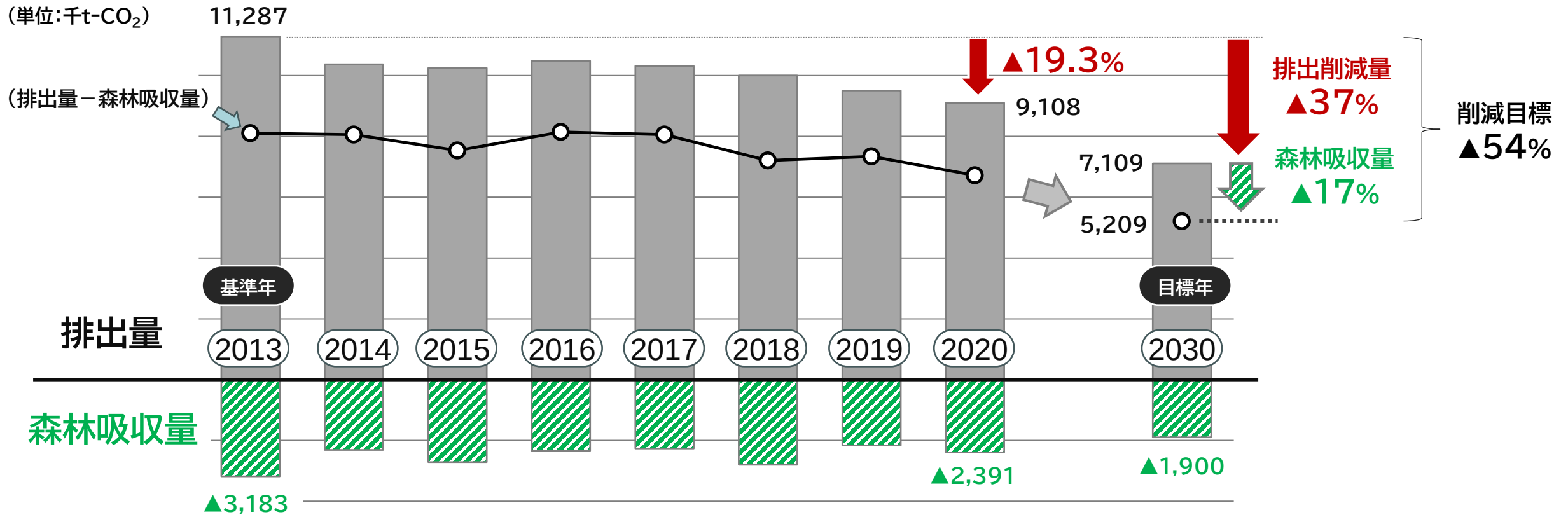
カーボンニュートラルへの挑戦

3

デジタル化の推進

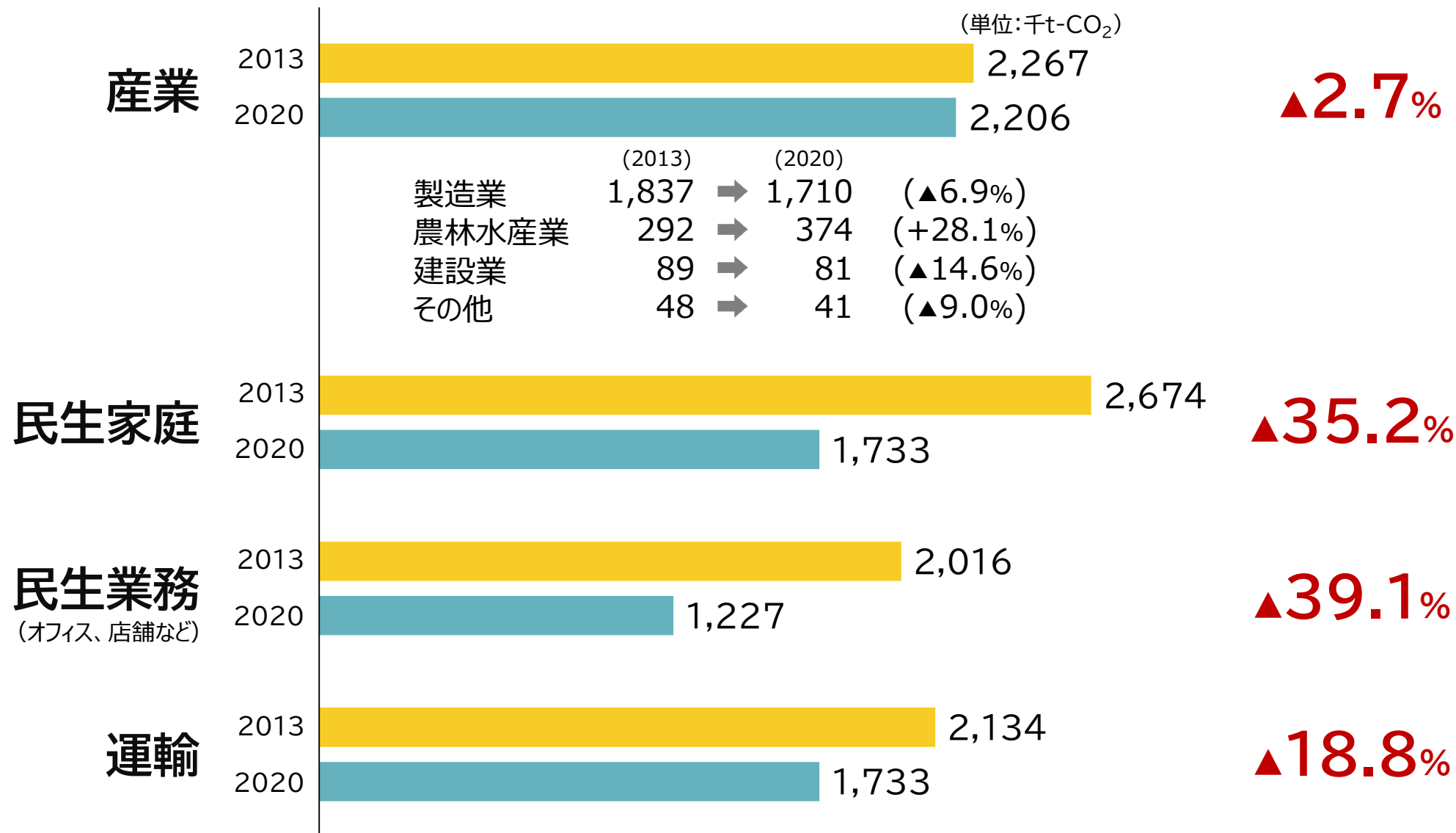
秋田県の温室効果ガス排出量

(2020年度) 9,108 千t-CO₂ / (2013比) ▲19.3%



2030年度の目標達成に必要な削減ペースを上回って推移!!

主な分野の温室効果ガス排出量



主な取組の成果

洋上風力発電

秋田港、能代港の港湾区域内において、国内初となる本格的な洋上風力発電所が商業運転を開始

一般海域では、全国最多の4海域で再エネ海域利用法における促進区域の指定を受け、全ての海域で発電事業者が決定し、運転に向けた準備が進行中

(A) 八峰町・能代市沖

合同会社八峰能代沖洋上風力
R11.6 運転開始予定

① 能代港

秋田洋上風力発電株式会社
R4.12 運転開始

(B) 能代市・三種町・男鹿市沖

秋田能代・三種・男鹿オフショアウインド合同会社
R10.12 運転開始予定

(C) 男鹿市・潟上市・秋田市沖

男鹿・潟上・秋田
Offshore Green Energyコンソーシアム合同会社
R10.6 運転開始予定

② 秋田港

秋田洋上風力発電株式会社
R5.1 運転開始

(D) 由利本荘市沖

秋田由利本荘オフショアウインド合同会社
R12.12 運転開始予定

秋田臨海処理センター エネルギー供給拠点化事業

再エネ発電設備等を導入し、秋田市向浜地区の公共施設群(11施設)における消費電力の脱炭素化と自立化を目指す

令和6年3月にDBO※事業者を選定

令和9年度の電力供給開始に向け進行中

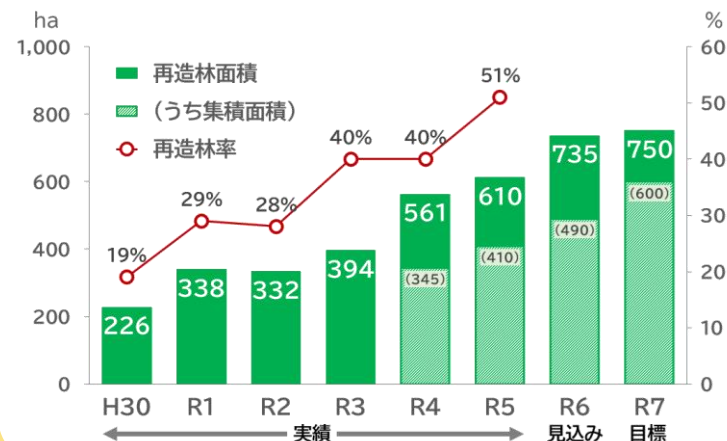


※設計(Design)、建設(Build)、運営(Operate)を一括して実施

脱炭素
先行地域
選定事業

再造林の推進

造林地集積の取組等の推進により、再造林面積、再造林率は共に増加



家庭の省エネ

第2弾 あきた 省エネ家電 購入応援 キャンペーン

お得にカエル♪

終了しました

第1弾と合わせ約2.9万台(推計)の省エネエアコン&冷蔵庫の購入を支援!

再エネ産業による経済波及効果の最大化

洋上風力発電関連企業の育成・創出等

県内企業マッチングフォーラム等の開催
関連企業のリストアップ（ガイドブック）



調査・コンサルティング業、製造業、運輸業、建設業、メンテナンス業、卸売・小売・リース業

メンテナンス等作業人材の育成（訓練センター「風と海の学校あきた」）

県民・事業者の理解促進（セミナー・イベント・教育）

県立高校を活用

再生可能エネルギーの地産地消促進

「再エネ工業団地」の整備

- ・地元産の再エネ電力の活用をアピールポイントにした企業誘致の展開
- ・輸送機器（自動車・航空機）や電子部品、医療機器、情報産業、新エネルギー産業のほか、データセンターなどの進出を期待



再エネ工業団地イメージ（秋田市下新城地区）

【脱炭素先行地域】下水道処理施設を核としたエネルギー供給拠点化事業



脱炭素先行地域
第1回選定事業
(秋田県・秋田市共同提案)

3市4町1村

計画処理人口 約36万人

(県内人口の1/3以上)

バイオマス供給!!

県内最大の流域下水道終末処理施設
県事務事業で最多の二酸化炭素排出施設
「秋田臨海処理センター」



自営線
蓄電池

スポーツ施設、研究施設等
(臨海処理センター含む)

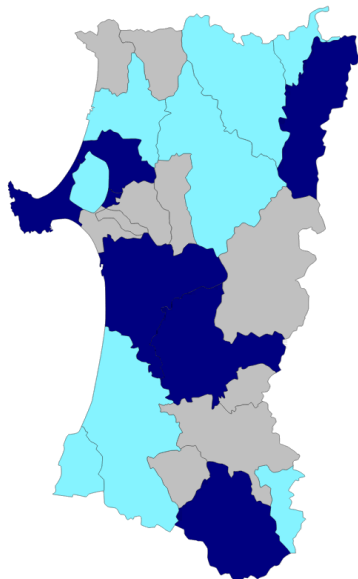
11公共施設へ
再生電力供給

全施設の年間消費電力約 22,000MWh のうち7割以上を供給
(残り約3割の電力も外部から再生可能エネルギーを調達予定)

年間で約 10,000 t-CO₂ を削減!!

2027年
電力供給
開始予定

県内市町村による取組の拡大



地球温暖化対策に係る実行計画（区域施策編）

● 策定済み (2022.3月時点) 2市



(2024.12月時点) 7市町

● 作業中 (2024.12月時点) 8市町村

湯沢市 地域一体で脱炭素社会実現へ！

湯沢市、市議会、湯沢商工会議所及びゆざわ小町商工会の4者が共同で「湯沢市ゼロカーボンシティ」を宣言
地元高校生がロゴマークを作成し、イベントで未来への提言を実施



湯沢市ゼロカーボンシティ宣言



オリジナルロゴマーク



公用車カーシェアリング

大潟村 脱炭素を地域課題解決の手段に！

村内で発生する「もみ殻」を原料にしたバイオマス熱供給事業を令和6年度よりスタートさせ、「自然エネルギー100%の村づくり」への取組を加速
(環境省による脱炭素先行地域 第1回選定事業)



大量に発生する
もみ殻の処理は地域課題に



最大191t/月のもみ殻を燃焼



熱導管が村内を縦断
宿泊・福祉施設等で熱利用



燐炭は農業利用

まとめ

- 洋上風力発電をはじめとする脱炭素産業の活性化により
環境と経済の好循環を加速
- 県民や事業者による脱炭素ムーブメントの一層の創出
- 地域間連携による相乗効果の発揮